



創立平成 22 年 9 月 16 日

東京日野プロバスクラブ プロバスだより

令和 3 年 10 月 14 日 発

第 129 号

喜ばば 喜び事が 喜んで 喜び集めて 喜びに来る

令和3年度(2021年度)

会長 澤田 研二

幹事 大島 芳幸

通算116回 9月例会は中止

(クラブ第12年度 第4号)

会長挨拶



会員のみなさんお元気ですか。お変わりありませんか。残念ながら先月号とほぼ同様のプレーズの書き出しになってしまいます。

思えば日本で最初に感染者として認定されたのは令和2年1月15日。死者は2月13日でした。ちなみに日野市民の感染者第1号は令和2年2月23日です。それから約1年半強の年月が流れ日野PCの9月例会日(中止)には累計で2700人を越えました。まだまだ終息地点が見通せない状況にあります。

日野PCの例会は、ついに5ヶ月連続の休会と、創立以来最長の休会となってしまいました。止む無き理由とは言え一日も早い終息を願うばかりです。初秋の訪れと共に以前と比べ感染者の数が減少しておりようやく緊急事態宣言も9月末で終了との動きとなり、会員の皆さんとはなんと6ヶ月振りに再会出来そうな状況ですが、まだまだ安心できません。お互い元気で顔合わせできる様万全の注意を払いその日を待ちましょう。

令和3年度会長 澤田 研二

今月のコラム



自民党総裁選を経て衆議院選挙の話題がマスコミを賑わしております。プロバスクラブは政治・宗教色を排除しているとは申せやはり気にかかる状況です。この国将来、地球の温暖化や子供たちの将来に対して責任を負える政治であってほしいと切に願います。

コロナ禍で、外出が制限され、体力が低下してフレイル化(虚弱)が心配されていますが、この「フレイル予防」に東京都医師会では、栄養・運動・社会参加の必要性を訴え、行政と取り組んでいます。プロバスの活動はまさに社会参加の最たるモデルです。会員増強に努めましょう。

和3年度 幹事 大島 芳幸

今月のトピックス

・緊急事態宣言が10月1日付けで全国的に解除されました。長期間にわたる我慢の甲斐があり、日野市内のコロナウイルス感染の発症者数が一桁台になってきました。会長談話にありますように、10月の月例会が高幡不動尊の会場にて開催されます。皆さんのお元気な顔を拝見で知る喜びに燃えております。

時折、人は季節を旅や人生になぞらえるものであるけれど、たとえば秋は、旅路の終わりの穏やかな日。歩いてきた道のりを味わい、残された時間をいとおしく思う――。そんな気持ちと重なりあう人も少なくないだろう。

秋が一年の中で満ち足りた時節であり、また、もの悲しさがよぎる季節でもあるのは、実りを迎えたものごとの頂点の時であり、やがてやって来る厳しい冬を目の前にしているからだろうか。(一部 JTB node より抜粋) 山本記

今月の幹事報告 大島芳幸

*コロナウイルス蔓延よりの9月の例会も中止となりました。

*埼玉浮き城プロバスクラブより、10周年記念誌多摩PCより会報128号のお礼状。

(理事会報告)

9月9日10:00より桃源院紫雲閣にて本年度第5回理事会を開催。

*懸案となっている10周年記念式典の件につき、後藤一郎実行委員長に指示をいただきながら、現理事を中心として準備委員会を組織し、コロナ禍の動向を見ながら、令和4年1月20日予定の新年例会合体した開催を検討中です。

例会委員会 五加 治

9月になり新型コロナウイルスによる新規感染者が減少し、10月には非常事態宣言が何とか解除になりそうです。日野プロバスクラブの10月例会が今年度になって初めて開催が出来そうになって来ました。例会委員会として重要な仕事となる「創立10周年記念式典」に向けての準備として、会場のホテルエミシア立川に大島幹事と保母副幹事でホテルの担当者に挨拶に行ってきました。保母副幹事を中心に担当者に現状説明し状況確認しました。



また、大島幹事より「創立10周年記念式典・祝賀会」のタイムスケジュールを頂き式典までの例会委員会として今後の行動を大雑把に把握できました。コロナの専門家委員会では11月末ごろコロナの六波が予想されていますが、何とか感染者数が少なくなることを願っています。

また、大島幹事より「創立10周年記念式典・祝賀会」のタイムスケジュールを頂き式典までの例会委員会として今後の行動を大雑把に把握できました。

コロナの専門家委員会では11月末ごろコロナの六波が予想されていますが、何とか感染者数が少なくなることを願っています。

コロナの専門家委員会では11月末ごろコロナの六波が予想されていますが、何とか感染者数が少なくなることを願っています。

地域奉仕委員会 林 良健



地域奉仕委員会は今まで、地域団体への支援、地域行事への支援と参画を行っていましたが、コロナ禍により、全く活動出来ない状況です。

全国の他のクラブの活動内容に「公開講演会・講座」「寺子屋出前講座」

(福祉施設、小学校、児童館などへの出前講座)「市民講座・作法教室・そば教室」など専門的で、より喜ばれる活動を実施しています。今後、参考にして、取り入れていきたいと思っております。

情報委員会 山本 英次



新型コロナウイルスについてさまざまなことがわかってきた。現時点の情報で考える限り、新型コロナウイルスの感染拡大は、そう簡単には終息しそうになく、「ウイズコロナ」の状態が長く続きそうである。政府はもとより、企業や個人も「ウイズコロナ時代を前提に、将来の対応を考えるべきである」との評論？が世界を席卷しております。将にコロナの顔色を見ながらおそろおそろ一歩一歩を踏み出そうとしております。「アフターコロナ」を楽しみに旅行業界、飲食業界の賑わいを見守ってゆきましょう。

研修委員会 久保 正男



「巣籠もり生活」にもようやく終止符を打ちそうな状況になりつつあります。緊急事態宣言、蔓防などの言葉が最近では慣れてしまっていて本当に今やっているのを忘れる程緊張感がなくなっているようです。第4コーナーを回って間もなく終息のゴールとなると良いのですが？そうならば当日野プロバスクラブでも、本格的活動が出来そうです。まずは、10月の例会開催を祈ってます。研修委員会では現在、充電期間中です。

会員委員会 後藤 紀之

ようやく緊急事態宣言が解除されて、10月から例会も開けそうな状況になって来ました。

例会が再開されれば新入会員の候補者が3名程いらっしゃるとの情報もありますので、楽しみにしております。新会員手帳の発行を予定しておりますが、なかなかお会いできませんので会員情報の訂正・変更もままなりません。もし現会員手帳の中で情報の変更を希望される方は後藤までお知らせ下さい。



9月の誕生祝い

誕生・喜寿を迎えて 澤田 研二

9月3日で77歳喜寿を迎えました。私にとっては令和に入って2つ目の節目と言えます。

1つ目は令和元年に75歳、世間で言われる後期高齢者の仲間入りでした。2つ目が今回の喜寿です。令和を迎えた時に自分なりの受け止めは、お陰さまで3つ目の元号を元気に迎えられる事の喜びでした。それを自分史に置き換えると、昭和(45年間)に「生まれ・育ち・学び」平成(30年間)で「築き・実り・成し」令和は「楽しもう」となります。

3つの時代を元気に過ごせた事については産み育ててくれた両親に感謝の限りです。今回喜寿を迎えた事で改めて感じた事は、何をすることも健康第一であり元気であれば、プロバスクラブの諸先輩の皆さんがそうである様にクラブの理念である「経験を生かして、地域社会に奉仕する」ことに連なる事だと理解を深めた次第です。

長寿の家系に育ち 魚住 徹

9月29日で満75歳となり、後期高齢者の仲間入りをしました。父は満102歳で逝き、母は車椅子生活ながら満98歳でなお健在。長寿の家系とはいえ、幼児から中学時代にかけて、数々の大病に患われた身には、よくここまで生きられたと感慨深いものがあります。残された日々を悔いなく過ごしたい思いを新たにしています。

未体験の世界に生きる 本部 浩允

私は、今年9月で83歳の年齢に至りました。振り返ってみるといろいろな事がありました。しかし、その内容の全てを文章に書き残すこと不可能です。

ところが最近になって、私の過去で一度も体験したことのないことを知人から聞きました。それは、伝染病の「コロナウイルス」の話です。しかも、この病は世界中に感染しつつあるようです。私の過去において、体験したことのない種の伝染病です。我が国は今では患者数も縮小しておりますが、一時期、一日千人を超える人が感染し、百人を超える人が死亡したそうです。

アメリカ、イギリス、イタリア等を含め、多くの先進国では未だに、感染症患者が拡大しております。

このようなことは、今までの世界の歴史において発生したことのない状況だそうです。しかし、今、日本国内では独自の高い医療技術によって、解決に向かっております。

我が国においては、高齢者寿命が世界をリードする社会になりつつあります。百歳まで生きることは当然と言われる社会が期待できます。

ゴルフ同好会報告

河口湖CCにて

* 9月24日(金) 河口湖CCにて日野3クラブ合同ゴルフコンペを開催。

秋空の好天に恵まれ、気持ちいいラウンドでした。なんと!! 1. 2. 3位を当プロバスクラブが独占しました。

優勝：黒澤直明会員、準優勝：横山好忠会員、3位：小島康義会員でした。特に横山さんは配当金も独り勝ちでした。



集合写真



優勝：黒澤直明さん 準優勝：横山好忠さん
第3位：小島康義さん 馬券総取り 横山さん



愛のサウンドフェスティバル

9月18日(土)2021 光バンドチャリティーコンサート「愛のサウンドフェスティバル」が、ひの煉瓦ホールにて開催されました。石渡理事長、澤田後援会会長(東京日野プロバスクラブ会長)、大坪日野市長のあいさつの後、チャンピオン、負けないで、若い広場等前後段併せて12曲が演奏されました。厳しいコロナ禍の中、台風14号通過という条件は最悪でしたが、煉瓦ホールは多くの観客であふれ、素晴らしい演奏会となりました。途中、日比谷野外音楽堂での演奏、富士森公園聖火リレー式等、今回のオリンピック・パラリンピックへの協力状況、パラリンピック金メダルの紹介(日野市)、等々、今年は「オリンピック/パラリンピック」と光バンドの特別な年なんだと強く感じました。

ひの煉瓦ホールにて



出演者の皆さんと澤田後援会長とお手伝いの皆さん

9月終わりの挨拶 副会長 宮地 公平

9月も緊急事態宣言の為中止でした。皆様お変わりありませんか。最近、右膝が痛くて、正座ができなくなりました。整形外科の診断は膝関節の変形でした。そんな折、youtubeで「もう一度、正座ができるようになる為に・・・」を見つけました。座れない原因は、何と筋肉の硬直でした。この動画に従って、ストレッチを繰り返すうちに、出来なくなった正座が、ゆっくりですができるようになりました。加齢による身体の劣化はできるだけ防ぎたいものです。今回は正座回復の体験報告をもって、終わりの挨拶に代えます。10月、お会いできるのを楽しみにしています。

プロバス便り編集部

編集・発行責任者：日野プロバス情報委員会

山本英次 魚住 徹 篠原昭雄 土方尚功

小林昭治 太田 健

ホームページ <http://www.hinonc.com/>



全日本プロバス協議会ニュース (No. 7) 「東京八王子2022」に皆さまを大歓迎

東京八王子大会 事務局長 持田 津三氏 談話
東京八王子プロバスクラブは、1995年に設立、昨年25周年を迎えました。昨年度は記念行事をいろいろ企画いたしましたが、コロナ禍により中止、延期などを余儀なくされました。今年度は7月にスタートいたしましたが、With Coronaで進まざるを得ない状況です。

2022年秋にはコロナの収束を望み、全日本プロバス協議会第10回総会・東京八王子大会を是非盛大に開催し、皆さまをお待ちしたいと思っております。ここで、東京八王子大会の概要と当クラブの紹介をさせていただきます。

*全日本プロバス協議会 第10回総会東京八王子大会 略称【東京八王子2022】

スローガン：【山と平野のふれあうまち東京八王子
「交流・学び合い」のプロビアン集い】

日時：2022年11月24日(木)13時～19時30分

場所：京王プラザホテル八王子 参加費：1万円/人

【全日本プロバス協議会 第10回総会

I：総会

【東京八王子大会】

II：交流会

プレゼンテーション「我がプロバスの活動」

(1) 東京八王子プロバスクラブ

(2) 他2つのプロバスクラブ

III：歓迎イベント

懇親会 1部 コンサート 男性合唱団(シニア
ダンディーズ) ソプラノ歌手ソロ 他

IV：交流懇親会

懇親会 2部 会食会

【オプション】エクスカッション(野外活動)希望者のみ
翌日11月25日(金)午前 参拝・会食 その後解散
会費は別途

“高尾山の秋を楽しむ”

～八王子の「日本遺産」の高尾山～

高尾山 秋の薬王院参詣と会食

編集後記

1年半を越えるコロナ禍の渦中で我慢に我慢を重ねて、やっと掴んだこの解放感に浸っております。今月1日に解除された観光地や飲み処は人出があふれております。クラブ活動の再開を目前にして絶好の好天気が続いております。

屋外に出て、新鮮な空気を腹一杯に吸い込んで1年の中で最も満ち足りた秋の季節を満喫しましょう。